

図 1.　香川県満濃町に野生するカワヤナギ. *Salix gilgiana* growing wild in Mannô, Kagawa Prefecture, Shikoku.

かしくない。だが，もし自生があるとするなら，もっと広い範囲で，しかも自然状態の植生がよく残っているところに見られてよいはずである。このような状況では，もともと九州のみでなく四国も，カワヤナギの分布域をはずれていたとみなすのがよいのではなかろうか。

なお，本誌にイヌコリヤナギも四国には分布していないのではないかと書いたが（山中 1984），その後まだ自生と思われるものは見つかっていない。ただ，その際ふれたように，このヤナギもよく植えていて，近年になって高知市では，鏡川の川原に野生化した雌株のあることがわかったのを付記しておく。

終わりに，ご教示いただいた木村先生にあつく感謝する。　（高知大学教育学部）

□滝田謙譲：**東北海道の植物** 1116 pp. 1987. 自費出版（釧路市武佐 2-34-21. 電話 0154-46-3490. 振替小樽 1-4331). ￥10,000（送料 ￥500). 著者が中学校の教職のかたわら描いた植物 1,100 図に，記相文と準拠標本の引用を付す。標本は京大と釧路郷土博物館に納められている。図は小形のもの以外はＢ５版一頁に一種で，細部に少々ぎこちない点はあるが，たいへん立派なものである。採集地域は北海道の知床・阿寒・釧路を結ぶ線以東である。残部は少ないが，希望者は直接申し込まれたい。　（金井弘夫）